

## 第64回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

H29.4.8 (土) 於：石川県立武道館弓道場

気温が20℃を越す4月の初旬とは思えない、絶好の選考会（花粉症の方には辛い）日和となった。競技方法は1チーム3名、近的競技、的中制（射距離28m、36cm霰的使用）1人4矢を2回、計24射を行い、総的中数より上位2チームを県代表に選出する。昨年の本大会では、予選通過するも入賞を逃した津田駒工業、三年連続の出場を目指す北国銀行、新メンバーが加入し、10年ぶりの出場を目指す石川県庁、それぞれのチームが本大会への出場権獲得を目指し、緊張感漂う中、競技は開始された。



1回戦、どのチームも的中が伸びない中、新メンバーの活躍もあり、石川県庁が7中で一歩リードし、北国銀行、津田駒工業A、中村留精密工業が6中で後を追う混戦模様となった。続く2回戦、石川県庁が1回戦の勢いそのままに8中、合計15中とし、10年ぶりに代表権を獲得。残りの一枠を争い、最終立ちの北川ヒューテックが追い上げを見せる。的中する度に観覧席が沸き立つ。大落1人を残した時点で暫定2位の北国銀行に的中数が並び、観覧席は一瞬の静寂に包まれた。その中、沖谷は見事に留矢を詰めて逆転に成功、2年ぶりの出場権獲得を果たした。

水橋会長から、「石川県の得点となる大切な試合ですのでぜひ頑張ってください」との激励を受けて閉会、熱い戦いの幕が閉じた。



## 【結果】

順位	チーム名	的中数
1位	石川県庁	15中
2位	北川ヒューテック	13中
3位	北國銀行	12中
4位	津田駒工業 A	11中
5位	中村留精密工業	10中
6位	津田駒工業 B	8中

「第64回全日本勤労者弓道選手権大会」に石川県代表として下記の2チームが出場。

石川県庁

北川ヒューテック

平成29年6月9日～11日に福井県敦賀市で開催

## ★代表チーム紹介

①県代表決定の感想 ②本日の結果分析 ③本大会へ向けての目標や課題 ④弓友に向けてのメッセージ

### 石川県庁



監督 大橋 洋一  
選手 川畑 直樹  
後藤 眞頼  
山下 美幸

### コメント（後藤選手）

- ①自分自身が今回も本大会出場は難しいのではと思っていたのですが、第54回大会（平成19年大分県佐伯市）以来、10年ぶりの本大会出場となり、正直、驚いています。
- ②県庁弓道部は高齢化が著しいのですが、今回の予選会は、今年度から加入した若手の活躍があつてこそ代表選出と思っています。
- ③予選会は、一度も一緒に練習したことのない急造チームで参加したので、間合いの取り方など課題は多いです。また、安定した的中が出せるよう練習したいです。
- ④10年ぶりの本大会出場に緊張していますが、過去の大会では、良い成績が残せていないので、今回こそはとの想いで頑張ります。応援よろしくお願いします。

## 北川ヒューテック



監督 井尻 秀樹  
選手 北村 智之  
寺田 勝彦  
沖谷 知明

### コメント（沖谷選手）

- ① 1立目の的中が悪かったので、出場権の獲得がわかったときは驚きと嬉しさが混じった気持でした。やはり弓道は最後の1本までしっかり引く、あきらめずに引くことが大切だと痛感しました。
- ② 我々のチームは練習時から初立の的中が今一つのことが多かったのですが、それが出てしまいました。しかし、2立目は練習通りのことができたのではないかと思います。団体練習にはそれなりに時間をかけてきたつもりなので、その結果が最後の僅差につながったのではないかと思います。
- ③ H24の東京、H27の岩手では二次予選の壁に跳ね返されてしまいました。まずは1次予選を突破し、そして初の二次予選突破を目指したいです。その上で、地連得点を獲得したいと思います。そのためにポイントを絞って稽古し、本大会では腹をくくって楽しめれば最高だと思っています。
- ④ 我が社の仲間は、毎年、県予選会に何人も応援に来てくれます。本当に感謝しています。それと松任弓道場で毎週行うチーム練習会で一緒に練習してくれている弓友達は、予選会が近づくと、我々の団体練習に付き合っ坐射をしてくれたり、時間を計ってくれたり、記録をつけてくれたりと助けてくれています。本当に感謝しています。それと我がチームの専属コーチには本当に感謝・感謝です。  
今年は隣県の福井県で大会が開催されますので、みなさん是非、応援をお願い致します。頑張ります！



**皆さん、現地で熱い声援を送りましょう！！**